

- 1 教科等名 総合的な学習の時間
- 2 単元名 未来について考えよう

3 単元の目標

武蔵野市民科  
資質・能力

○知識・技能の習得	・地域の実態や特徴、地域の人々の思いや地域をよりよくしようとしている人々の思いについて理解を深めるとともに、地域をよりよくしようとしている人々の努力や工夫に気付く。	C2
○思考力・判断力・表現力等の育成	・未来がよりよくあるために地域がどうなるとよいか課題を設定し、集めた資料や、様々な立場の人々の意見や考えを聞くことで、多面的に考えるとともに、根拠を明らかにして意見文にまとめ、発表する。 ・未来の私たちの町がよりよくあるために、今の自分たちができることを考え、実践する。	A2
○学びに向かう力・人間性等の涵養	・私たちの町が未来によりよくあるためにどうしたらよいか、主体的に考えたり、地域の人々とすすんで対話したりして、課題解決に取り組む。 ・私たちの町が未来によりよくあるために、今できることを考え、自ら地域に関わろうとする。	B2

4 単元計画

小単元	ねらい	時数	○主な学習活動・指導上の工夫	関連教科 関連団体（連絡先等）
小単元 ①	「働く」とは何かを考える。 職業の種類や内容について情報収集し、働くことの意味や価値について自分なりに考える。	20	○自分たちの暮らしを支える仕事にはどのようなものがあるかを話し合い、地域の職業について関心をもつ。 ○働くことの意義や理由について、自分の考えを出し合い、身近な大人の働く姿と結び付けて考える。 ・身近な人にアンケートを実施し働くことへの思いを知る。 ○興味のある職業について調べ、知識の幅を広げる。 ・図書資料やインターネットを活用する。	道徳科「働く」ってどういうこと？ キャリア教育
小単元 ②	地域の方々へのインタビューを通じて、社会に貢献する働き方や、自己の適性・興味を見つめ直す機会とし、夢の実現に向けた具体的な行動の大切さを実感する。	20	○地域で働く人へのインタビューを通して、具体的な仕事内容や働く人の思いを直接聞き取る。 ○実際にその職業に就いている人へのインタビューや講話を通じて、具体的な仕事内容や働く人の思いを直接聞き取る。 ・多くの方の話が聞けるように、複数のブースを用意する。 ○働く上でのやりがいや課題、価値観に触れる。 ・職業の内容だけでなく、働くことへの思いを感じられるようにする。 ○インタビュー後、働く人々の共通点や職業ごとの違いを比較し、「働くこと」の本質について考察を深める。	国語科「聞いて、考えを深めよう」 地域コーディネーター
	インタビューした内容をまとめ、発表する。	5	○インタビューから学んだことをまとめ、共有する。	
小単元 ③	地域だけでなく、世界に向けて発信している方の話を聞き、働く人の思いについて考える。	20	○2学期の振り返りをもとに、新たな課題設定を行う。 ○地域で働く人へのインタビューを通して、具体的な仕事内容や働く人の思いを直接聞き取る。 ・地域のためだけでなく、世界に向けて発信している方の思いを感じられるようにする。 ○将来の夢の実現に向け、今からできること（学習や生活習慣、努力など）を具体的に計画し、自分の行動に生かす。	国語科「聞いて、考えを深めよう」 地域コーディネーター
	活動の振り返りを通して、夢の実現がよりよい社会づくりとどうつながるかを考え、主体的な進路選択への意識を高める。	5	○学んだことを振り返り、共有する。 ○キャリアパスポートに振り返りをまとめる。	特別活動「奉仕活動について」 国語科「今、私は、ほくは」 家庭科「共に生きる地域での生活」

合計時数 70 時間

5 単元の振り返り

成 果（児童・生徒の変容等）	課 題